

麻布大学同窓会広島県支部総会開催状況

麻布大学同窓会広島県支部の会計を務めさせていただいております。広島県支部は100名の会員数を誇り、歴代支部長、会員皆様のお陰を持ち年会費の納入状況も100%と行かないまでも9割を超えて収めていただいております。

平成31年2月17日に田中啓一支部長のもと第50回の通常総会を執り行いました。4地区より各代表幹事が定期的に連絡をとりあうことで、この度の総会には27名の出席者がありました。

総会では決算収支報告が異議申し立てなく進み、続いて平成30年度代議員会の概要報告では奨学金の返還金が3割しかないことに総会出席者の多くが驚き、質問者の一人は落胆の色を隠せない状況でありました。また、動物応用化学科の定員オーバーで文部科学省からの設置計画履行状況調査委員会の調査の対象となり改善指導があった事に、改めて少子化に伴う大学運営の難しさを感じました。

今回特別講演として、麻布大学小動物臨床研究室 講師をしていらっしやいます川原井晋平先生をお招きし、『麻布大学における皮膚科診療と研究活動』と題しまして、犬猫と人との栄養学的違いや、肉食であった狼から人間と一緒に暮らし飼われた事で唾液中にアミラーゼ（炭水化物を分解する酵素）を含む様になった事など、非常に興味深い講演でした。

懇親会では川原井先生も参加して頂き、先生と同期の会員もいたことから皆が昔の話を語り、また今後の大学のあり方や個人の健康の事まで幅広い内容に、出席者皆が楽しい時間が共有できる1日となりました。

《文責 園田康広》



第50回麻布大学同窓会 広島県支部 平成31年2月17日 於 ホテルセンチュリー21広島

